

大妻女大家政 松山容子 ○大妻女大短大 高部啓子
 大妻女大人間生活科研 植竹桃子 大妻女大家政 本間祥子

目的： 高齢化社会へと急速に進みつつある今日，中高年を対象とした衣服の需要はますます増えるものと思われる。中高年のからだつきは，長い間の生活習慣や筋の衰え，皮下脂肪の沈着など経年変化を経て，若年とは異なるが，衣服の適合性を向上させるための科学的形状データは未だ十分に蓄積されているとは言えない。本研究では中高年女子を対象とした衣服裁断用ダミイ設計の基礎資料を得ることを目的とし，身体側面シルエットを若年女子との比較において解析し，中高年女子体型の特徴を明らかにした。

方法： 資料は，1986～87年に撮影及び計測を実施した42～66歳女子63例，1983～86年撮影・計測の20～30歳女子65例の側面単写真，身体計測値，超音波法による皮下脂肪厚測定値である。写真撮影は生体学的手法に基づき，105mm 望遠レンズを用い，被写体との距離を10mとした。写真上の計測点の座標値をデジタイザー入力し，解析した。

結果： 中高年女子の平均的側面シルエットを若年女子のそれと比較すると，次のことが明かとなった。①耳珠点を通る垂線を基準とする各計測点の水平距離は，後側では若年との差は小さいが，前側では乳頭点と恥骨点の間で中高年が顕著に大きい。

②乳頭点，腹部最凸点，背部最凸点，殿部最凸点は中高年で相対的に低い位置を示す。

③中高年では若年に比べて胸椎部の後彎が強く，腰椎部の前彎が弱く，前肩体型の傾向が認められる。